

～下記の研究を行います～

『日本における HIV 感染者・エイズ患者の
発生動向に関する研究』

【研究の主宰機関】 国立感染症研究所

【研究代表者】 砂川富正

【研究の目的】 日本における未診断者を含む HIV 感染者数全体の推定を行い、HIV 感染予防戦略に役立てることを目的とします。

【研究の期間】 研究許可日～2028 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2003 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日に当院を受診した HIV 感染者

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：診断時年齢、性別、診断時居住地（都道府県）、診断日、診断時 CD4 陽性 T 細胞数、診断時血中 HIV-RNA 量、診断時の AIDS の有無、感染経路、死亡日、初診日、初診時病期、最終陰性年月、国籍、抗 HIV 療法開始年月日、転帰等

●外部への情報等の提供

国立感染症研究所・国立国際医療センター・広島大学へのデータの提供は、パスワードを付した電子メール等で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当院の研究責任者が管理し、データを提供する前に適切な方法で対応表を破棄します。

●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国立感染症研究所 感染症疫学センター

国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

琉球大学医学部 感染症制御学講座

国立国際医療センター 臨床研究センター

広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 健康情報学

北海道大学大学院医学研究院 社会医学系部門社会医学分野

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科疫学・衛生学

広島国際大学 看護学部看護学科

砂川富正

白阪琢磨

健山正男

尾又一実

梯 正之

西浦 博

頼藤貴志

鍵浦文子

【研究の資金源】

厚生労働科学研究費補助金・エイズ対策政策研究事業の公的研究費

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

HIV/AIDS 先端医療開発センター 特別顧問 白阪琢磨

研究代表者

国立感染症研究所 感染症疫学センター

室長 砂川富正